号 168

生活保護は最後のセーフティネット

困窮者に寄り添う支援が求められる

佐久間

久良

が求められてる。 基づいて生活困窮者に寄り添う支援 国や自治体は、憲法と生活保護法に 根幹の制度として生活保護がある。 憲法25条では、生存権を保障する 生活保護について質問する。

の通勤など一定の要件のもとで保有 められている。自動車も、障がい者 護を受けることができる。 金等の収入がある場合でも、国が定 が認められている。なお、就労や年 産の活用が前提となるが、 める最低生活費を下回る場合には保 居住に必要な宅地や家屋は保有が認 つながる。改善を要求したい。 ご指摘のあった冊子は、内容やデ 保護申請にあたり、預貯金や資 例えば、

ょ

り

態に即した適切な対応を今後もして いただきたい。 に対処することは重要。しかし、実 はなく、悪質な不正に対しては厳正 もちろん不正受給は許されるもので ことを強く認識していただきたい。 にかかわる重大な問題となる。この ここでの保護を見逃したならば、命 て最初で最後のセーフティネット。 生活保護制度は生活困窮者にとっ

書を取りにくるのか。 診する場合は、市役所に、診療依頼 生活保護世帯が医療機関等に受

機関を受診していただき、医療機関 を取りに来られない方は、 緊急に医療機関を受診したい場 緊急時または休日や夜間といっ 市役所まで診療依頼書の交付 直接医療

議員

保護を受給しているという旨を伝え の窓口において、大網白里市で生活 ていただければ受診できます。 憲法25条では「全ての国民は健康

項は「地方公共団体は、住民の福祉 域における行政を自主的かつ総合的 の増進を図ることを基本として、地 進に努めなければならない」として で文化的な最低限度の生活を営む権 る」とある。 に実施する役割を広く担うものとす いる。また地方自治法の第1条第2 社会保障及び公衆衛生の向上及び増 全ての生活部面について、社会福祉 利を有する」と述べ、2項では「国は

思う。相談者の誤解を招くことにも

活保護の相談について」というしお

正確な表現になっていないと

生活保護を受けるに当たり、「生

ことを強く要望する。 絶対に実践していただきたいという るため、命と暮らしを守るために、 た。本当に健康で文化的な生活を守 おりであることと、また、実情にも 合わせて対応するとお答えいただい 答弁で、保護手帳に書いてあると

だ

議

会

ザイン等を含めて、見やすく改善で

きるか検討していきます。

している。大網白里市でも検討して 減免は、いま全国的に広がり、仙台 は移住や定住の促進の施策につなが いただきたい。 ると思う。子育て世代への均等税の にもなる均等税の減免。子育て支援 清瀬市、旭川市などでも踏み出 国保について伺う。子育て支援

周知に努めている。

メンバー構成は。

会で活動実績報告を行い、本事業の

いる。また、ケアマネージャー連絡 や、対象者の支援方針等を協議して 奨、誘導等の支援を行っている。チー 受診や介護保険サービスの利用の勧

ム員会議を開催し対象ケースの選定

したケースは、5名。活動は家庭訪 成30年10月末までに対象として支援

教育的支援、医療機関への定期

減免は、国民健康保険制度の基盤強 展に留意していきたい。 影響等を顧慮しながら、引き続き議 論していくとされている。今後の進 現行制度の趣旨や国保財政に与える 化に関する国と地方の協議において、 子どもを対象とする均等割額の

ついて、本市も実施すべきでは。

認知症専門医で構成している。 保健師及び社会福祉士の専門職

安心見守りシールの無料配布に

実施については、警察署との連

とは承知しているが、おこなってい ただきたい。 る自治体もある。 均等割は法令で、削減できないこ ぜひとも考えてい

安心・ 安全なまちづくりを目指して

田 繁子 議員



考えている。 切さを主体的に考えることができ 講師の活用により、「健康と命の大 について研究を進めてまいりたいと 集等に努めるとともに、「ガン教育」 た」「認識と理解が深まった」など よれば、「ガン教育」における外部 教育委員会としても、参観や情報収 れている。今後千葉県の「ガン教育 師との日程調整問題」などが挙げら ことが困難」「指導時間の確保」「講 の要望とのギャップ」「講師を探す 課題として「講師が話す内容と学校 が効果として挙げられている。一方 に係る出前授業」が予定されており、 文部科学省による調査の結果に

在宅

授業化、防災クラブの取り組みにつ

が顕著なため、周囲が対応に苦慮し けているが認知症の行動・心理症状

ている方で、相談があった中から

ームが介入し支援を行っている。 活動実績は、チーム設置後から平

ビスを受けていない方、また中断し 症と診断されいても医療・介護サー

ている方、医療・介護サービスを受

で生活し認知症が疑われる方、認知 ムを設置。対象者は40歳以上、 を目的として、平成28年11月にチー

ついては、防災教育の今後の改善、 様々な自然災害から「自分の

携や市民全体がシールの存在を認識 取り組みについて、外部講師を活用 する必要があるため、先進地を参考 したガン教育の取り組みは。 命の尊さを学ぶ「ガン教育」の 費用と実績を含め研究し

個人質問 平成31年度中に実施 小・中学校のエアコン設置事業は、

取り組みについて質問いたします。 の軽減などの試算と今後の具体的な エアコン設置事業における予算

いて質問いたします。 防災対策について、防災教育の

のちは自分で守る」ための認識や実 ていきたいと考える。 生徒の防災意識の醸成と向上を図っ 防災教育の推進を図りながら、児童 とは難しいものがあるので、まずは 期的な活動として時間を確保するこ 動や生徒会活動の中に立ち上げ、定 ご紹介の「防災教育プログラム」に ます高まっていると認識している。 大変重要であり、その必要性はます 践力を育てる観点から、防災教育は ご提案の防災クラブを中学校の部活 充実のための参考としていきたい。

りイベント等を考えているか、その ツの祭典を目標に市として健康づく 他市長の事務報告について質問しま いて、県や近隣市町村との取り組み への情報を聞きました。また、スポー 2020年東京オリンピックにつ

> コン設置を前倒しして来年度中に実 国の補正予算を活用して、エア

たします。 で、本交付金を活用し、来年度中に 市内小・中学校の空調設備を整備 交付金を活用したほうが有利ですの 整備を進めていく上では、臨時特例 たしますと、小・中学校空調設備の 施するよう要望いたします。 市長 市の厳しい財政状況を考慮い

談し、家族支援等の初期の支援を行

自立生活のサポートを行うこと

人々、認知症の人及びその家族と面

たことを背景に、認知症が疑われる

答 ★新オレンジプランが策定され 支援チームについて質問いたします

認知症対策および、認知症集中

予算を活用することにより1億円程 0万円と交付税措置額1億6000 から国の臨時特例交付金1億350 万円を控除いたしますと、国の補正 事業費の総額6億5300万円 財政上有利になると考えられま

が、これまでの進捗状況、そして総 連事業につきまして、平成31年3月 成31年度中の完了を予定しておりま 造など関連工事を推進しております の開通に向けて、アクセス道路の築 分の空調設備の工事費を計上し、平 補正予算に小学校7校と中学校3校 についても質問いたします。 通し等について、又、今後の見通し 事業費と市の事業費を含めた実績見 今後のスケジュールですが、2月 ★スマートインターチェンジ関

などを実施する予定です。また、あ いては、圏央道上を横断する橋梁が 道路築造工事を進めております。 わせてアクセス道路につきましても に係る道路の築造工事を行っており 答 インターチェンジ本体工事につ 今後、舗装や料金所施設の設置工事 完成し現在、圏央道本線への出入り

いて質問いたしました。

景

業費を上限として事業を進めている 費は確定しておりませんが、この事 ます。現在、事業実施中のため事業 億9000万円として実施しており 費につきましては、全体事業費が約 ところです。 43億円、そのうち市の負担額は約11 スマートインターチェンジの事業

狭いので、今後拡張するよう要望い 要望 小中池に向かう道路は非常に たしました。

なるものと見込んでおります。 ると4年生以上の受け入れが可能と 年度中に完成する予定です。完成す で396名の利用となっております。 保育室の改築工事を行っており、今 取り組みとして、現在、大網東学童 所の合計9カ所にて実施しており、 各学童保育室の11月1日現在の利用 学校内7カ所と民間学童保育室2カ 答 市内における学童保育室は、小 問がは課後児童クラブ学童保育の待 機児童解消について質問いたします。 人数は、

公立、

民間合わせて

市全体 本市の学童保育の受け皿の確保の

なるものと見込んでおります。 在の2部屋から3部屋となることか の完成後に移転を行い、保育室が現 している(仮称)子育て交流センター タクシー利用の助成券の導入につい 端末など可動式コンピューターの導 ら、4年生以上の受け入れが可能と ては、みどりが丘市有地に現在整備 入の推進、③交通弱者の移動手段に 軽く、⑤介護保険料の低減などにつ て、④学校に通う子ども達の荷物を ついて、②小・中学校のタブレット その他、①市長の8年間の実績に また、大網学童保育室につきまし